

169

様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※ 各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年3月26日 (第 報)
 発信時刻 9時45分
 (第15条-168報)

経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎
 連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101 (代)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以降の情報を通報します。

原子力事業所及び場所 名称: 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所
 (事業区分: 電気事業)
 場所: 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原 22

特定事象の発生箇所 福島第一原子力発電所

特定事象の発生時刻 平成23年3月11日 16時36分 (24時間表示)

発生した特定事象の概要	特定事象の種類	㊦ 非常用炉心冷却装置注水不能 原子力緊急事態に該当 (■する, しない)
	想定される原因	<input type="checkbox"/> 特定 <input checked="" type="checkbox"/> 調査中
	検出された放射能量の状況, 検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	当所、発電所敷地内における空気中の放射性物質及び海水 (採取箇所: 発電所南側及び北側) の核種分析を行った結果、よう素、セシウム、等の核種を検出しました。 3月25日に採取した試料における検出核種並びに濃度は、添付分析結果のとおりです。

その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)	被ばく者の状況 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 被ばく者 名, 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有:
	気象情報 (確認時刻 時 分)	・天候: ・風向: 方位 ・風速: m/s ・大気安定度: ---
	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有:
	応急措置	

海水核種分析結果

確定版

試料採取日時刻	平成23年3月25日 8時30分			
採取場所	1F 南放水口付近 (1~4u放水口から南側に約330m地点)			
測定方法	試料500mlを福島第二へ運搬し、Ge半導体検出器で測定			
測定時間	1,000秒			
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	②検出限界濃度 (Bq/cm ³)	③炉規則告示濃度限度 Bq/cm ³ (別表第2第六欄周辺監視区 域外の水中の濃度限度)	倍率 (①/③)
Co-60 (約5年)	5.9E-02	2.0E-02	2E-01	0.3
Mo-99 (約66時間)	2.1E-01	1.7E-01	1E+00	0.2
I-131 (約8日)	5.0E+01	6.2E-02	4E-02	1250.8
I-132 (約2時間)	3.3E+00	7.7E-02	3E+00	1.1
Te-132 (約3日)	2.2E-01	4.0E-02	2E-01	1.1
Cs-134 (約2年)	7.0E+00	3.9E-02	6E-02	117.3
Cs-136 (約13日)	8.0E-01	3.9E-02	3E-01	2.7
Cs-137 (約30年)	7.2E+00	3.5E-02	9E-02	79.6
Ba-140 (約13日)	1.2E+00	1.5E-01	3E-01	3.9
La-140 (約2日)	5.8E-01	1.3E-02	4E-01	1.4

※ 〇.〇E-〇とは、〇.〇×10-〇と同じ意味である。

海水核種分析結果

確定版

試料採取日時	平成23年3月25日 8時50分			
採取場所	1F 5~6放水口北側 (5~6u放水口から北側に約30m地点)			
測定方法	試料500mlを福島第二へ運搬し、Ge半導体検出器で測定			
測定時間	1,000秒			
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	②検出限界濃度 (Bq/cm ³)	③炉規則告示濃度限度 Bq/cm ³ (別表第2第六欄周辺監視区 域外の水中の濃度限度)	倍率 (①/③)
Tc-99m (約8日)	3.4E-02	2.5E-02	4E+01	0.0
I-131 (約8日)	1.1E+01	2.3E-02	4E-02	283.8
I-132 (約2時間)	1.9E-01	4.1E-02	3E+00	0.1
Te-132 (約3日)	1.3E-01	2.1E-02	2E-01	0.6
Cs-134 (約2年)	1.7E+00	1.9E-02	6E-02	28.0
Cs-136 (約13日)	2.0E-01	1.7E-02	3E-01	0.7
Cs-137 (約30年)	1.7E+00	1.8E-02	9E-02	18.5
Ba-140 (約13日)	2.8E-01	7.2E-02	3E-01	0.9
La-140 (約2日)	1.3E-01	6.8E-03	4E-01	0.3

※ 〇.〇E-〇とは、〇.〇×1.0-〇と同じ意味である。

福島県郡内における空気中放射性物質の検出分析結果について

当社福島第一原子力発電所における空気中放射性物質の測定結果をお知らせいたします。

確定版

1. 採取・測定条件

場所	福島第一 正門	
日時	3/25 2:01~2:21	
採取方法	モニタリングカーにてダスト採取	
風向・風速	ESE 0.8m/s (5:30現在)	
日時	3/25 13:38~	
測定方法	試料を2Fに持ち込みGe半導体型検出器分析装置にて分析	
測定時間	500s	

2. 結果

核種	3/25採取分		①放射能濃度 (Bq/cm ³)	②放出線強度 度 (Bq/cm ³)	③空気中放射能濃度 に相当する 割合(ND/ Bq)	④放射能濃度 が人の呼吸する 空気中の濃度(4倍) 度(Bq/cm ³)※
	①放射能濃度 (Bq/cm ³)	②放出線強度 度 (Bq/cm ³)				
標準性	Ce-58	ND	ND	-	-	1.0E-02
	I-131	8.0E-04	2.1E-05	0.38	0.38	1.0E-03
	I-132	ND	-	-	-	7.0E-02
	I-133	ND	-	-	-	5.0E-03
	Ce-134	3.2E-05	1.7E-05	0.02	0.02	2.0E-03
	Ce-137	2.4E-05	1.8E-05	0.01	0.01	3.0E-03
放射性	Ce-58	ND	ND	-	-	1.0E-02
	I-131	3.2E-04	1.1E-05	0.32	0.32	1.0E-03
	I-132	ND	-	-	-	7.0E-02
	Ce-134	1.6E-05	9.5E-06	0.01	0.01	2.0E-03
放射性	Cs-135	ND	-	-	-	1.0E-02
	Ce-137	1.6E-05	9.2E-06	0.01	0.01	3.0E-03
	Zr-95	ND	-	-	-	3.0E-02
	Ru-105	3.1E-04	4.4E-05	0.00	0.00	8.0E-02
	Te-129	ND	-	-	-	4.0E-01
	Te-129m	ND	-	-	-	4.0E-03
その他の 検出核種	Te-132	8.2E-05	1.0E-05	0.01	0.01	7.0E-03

※ 人が呼吸する空気中の放射性核種の2ヶ月間についての平均濃度に対して、割合にて定められている濃度値。
※ 0.0E-0とは、0.0×10⁻⁰と同一。

海水核種分析結果

(参考 13)

試料採取日時	平成23年3月24日 10時25分			
採取場所	1F 南放水口付近 (1~4u放水口から南側に約330m地点)			
測定方法	試料500mlを福島第二へ運搬し、Ge半導体検出器で測定			
測定時間	1,000秒			
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	②検出限界濃度 (Bq/cm ³)	③炉規則告示濃度限度 Bq/cm ³ (別表第2第六欄周辺監視区 域外の水中の濃度限度)	倍率 (①/③)
I-131 (約8日)	4.2E+00	2.3E-02	4E-02	103.9
I-132 (約2時間)	1.7E+00	4.3E-01	3E+00	0.6
Te-132 (約3日)	8.0E-02	2.1E-02	2E-01	0.4
Cs-134 (約2年)	4.5E-01	1.7E-02	6E-02	7.4
Cs-136 (約19日)	6.1E-02	1.7E-02	3E-01	0.2
Cs-137 (約30年)	4.4E-01	1.5E-02	9E-02	4.9
La-140 (約2日)	2.1E-02	1.2E-02	4E-01	0.1

* 〇.〇E-〇とは、〇.〇×10-〇と同じ意味である。

海水核種分析結果

試料採取日時刻	平成23年3月24日 10時40分			
採取場所	1F 5~6放水口北側 (5~6u放水口から北側に約30m地点)			
測定方法	試料500mlを福島第二へ運搬し、Ge半導体検出器で測定			
測定時間	1,000秒			
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	②検出限界濃度 (Bq/cm ³)	③炉規則告示濃度限度 Bq/cm ³ (別表第2第六欄周辺監視区 域外の水中の濃度限度)	倍率 (①/③)
I-131 (約8日)	9.5E-01	1.3E-02	4E-02	23.7
I-132 (約2時間)	4.5E-01	2.1E-01	3E+00	0.2
Te-132 (約3日)	1.4E-01	1.0E-02	2E-01	0.7
Cs-134 (約2年)	1.1E-01	9.2E-03	6E-02	1.8
Cs-136 (約13日)	1.1E-02	6.5E-03	3E-01	0.0
Cs-137 (約30年)	1.1E-01	8.7E-03	9E-02	1.2

※ 〇.〇E-〇とは、〇.〇×10-〇と同じ意味である。

発電所敷地内における空气中放射性物質の核種分析結果について

当社福島第一原子力発電所における空气中放射性物質の測定結果をお知らせいたします。

1. 採取・測定条件

場所	福島第一 正門	
日時	3/24 5:27~5:47	
採取方法	モニタリングカーにてガスト採取	
風向・風速	ESE 0.8m/s (6.60現在)	
日時	3/24 22:03~	
測定方法	試料を2H-1持ち込みGe半導体型核種分析装置にて分析	
測定時間	500s	

2. 結果

核種	3/24採取分			放射線影響性 検査の可能な 空気中の濃度限 値 (Bq/cm ³) 等
	①放射線測定 (Bq/cm ³)	②検出限界濃度 値 (Bq/cm ³)	③空気中の 放射性物質 濃度 (Bq/cm ³)	
Co-58	ND	—	—	1.0E-02
I-131	1.5E-03	1.0E-05	1.49	1.0E-03
I-132	ND	—	—	7.0E-02
I-133	ND	—	—	5.0E-03
Cs-134	3.2E-05	7.9E-06	0.02	2.0E-03
Cs-137	3.1E-05	7.3E-06	0.01	3.0E-03
Co-58	ND	—	—	1.0E-02
I-131	5.0E-04	4.8E-06	0.50	1.0E-03
I-132	ND	—	—	7.0E-02
Cs-134	1.1E-05	4.6E-06	0.01	2.0E-03
Cs-136	ND	—	—	1.0E-02
Cs-137	1.2E-05	3.8E-06	0.00	3.0E-03
Zr-95	2.6E-05	6.0E-06	0.00	8.0E-02
Te-129	4.9E+00	9.5E-01	11.4	4.0E-01
Te-129m	3.4E-04	9.9E-05	0.08	4.0E-03
Te-132	3.6E-04	4.4E-04	0.05	7.0E-03

※ 人が呼吸する空気中の放射性物質の3ヶ月間についての平均濃度に対して、割合で定められている濃度限値。
※ 0.0E+0とは、 0.0×10^{-6} と同じ意味である。

170

様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※ 各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年3月26日 (第 報) 発信時刻 10時20分	
(第15条-169報)	
経済産業大臣、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿 通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎 連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101 (代)	
特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以降の情報を通報します。	
原子力事業所及び場所	名称：東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分：電気事業) 場所：福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原 22
特定事象の発生箇所	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻	平成23年3月11日 16時36分 (24時間表示)
発生した特定事象の概要	特定事象の種類 ⑥ 非常用炉心冷却装置注水不能 原子力緊急事態に該当 (■する, しない)
	想定される原因 <input type="checkbox"/> 特定 <input checked="" type="checkbox"/> 調査中
	検出された放射能 量の状況, 検出され た放射性物質の状 況又は主な施設・設 備の状況等 1号、2号、3号機の原子炉への注水を海水から淡水に切り替える作 業は、3月25日の15時37分に1号機、18時02分に3号機を切 り替えた後、2号機は、3月26日の10時10分に切り替えました。 なお、2号機の原子炉への淡水注入は、仮設タンクを用いてホウ酸を 溶解した後、行っております。
その他特定事象の把握に 参考となる情報	被ばく者の状況及び 汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分) 被ばく者の状況 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有：被ばく者 名, 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有：
	気象情報 (確認時刻 時 分) ・天候： ・風向：方位 ・風速： m/s ・大気安定度：
	周辺環境への影響 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有：
	応急措置

171

様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※ 各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

		平成23年3月26日 (第 報) 発信時刻 16時 55分 (第15条-170報)	
経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿		通報者名: 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎 連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101 (代)	
特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以降の情報を通報します。			
原子力事業所及び場所		名称: 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 場所: 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原 22	
特定事象の発生箇所		福島第一原子力発電所	
特定事象の発生時刻		平成23年3月11日 16時36分 (24時間表示)	
発生した特定事象の概要	特定事象の種類	⑥ 非常用炉心冷却装置注水不能 原子力緊急事態に該当 (■する, □しない)	
	想定される原因	<input type="checkbox"/> 特定 <input checked="" type="checkbox"/> 調査中	
	検出された放射能 量の状況, 検出され た放射性物質の状 況又は主な施設・設 備の状況等	16時46分頃、2号機の中央操作室の照明が点灯いたしました。	
その他特定事象の把握に 参考となる情報	被ばく者の状況及び 汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)	被ばく者の状況 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 被ばく者 名, 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有:	
	気象情報 (確認時刻 11時00分)	・天候: 曇 ・風向: 方位 南 ・風速: 2.5m/s 大気安定度: _____	
	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有:	
	応急措置	_____	